



全日本自治団体労働組合 北海道本部
〒060-0806 札幌市北区 北6西7 北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 高田 将平

春闘・統一自治体選挙勝利

連合北海道3・10全道総決起集会



杉山会長(左)とともに必勝を誓う池田まき北海道知事候補予定者(中)と秋元克広札幌市長選挙候補予定者(右) = 3月10日、札幌市内

3月13日からマスク着用が原則自由となった。5月には新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられる。油断は禁物だが、ようやく出口が見え始めた。旅行やライブ、今までできなかったことを楽し

朔風

みにしている人もいるだろう。春闘、新規採用者の組織化、統一自治体選挙など、組合の取り組みが続く。それは「処遇を改善しろ」と訴え、仲間と交流、学習する機会でもある。3年間自粛してきた分を取り戻そう。

3月10日、連合北海道は「2023春季生活闘争・統一地方選挙勝利!! 3・10全道総決起集会」を札幌市内で開いた。今春闘において、物価高騰に苦しむ労働者のため、賃上げを実現する。統一自治体選挙では地方中心の政策へ転換するため、すべての推薦候補の必勝をめざす。

連合北海道の杉山会長は、「大企業を上回った中小企業の賃上げ要求を実現するため、連合北海道は適正な価格転嫁を求めている。北海道では長時間労働と不払い残業が増えており、春闘で労使協議をする必要がある。新型コロナウイルスによって公共サービスの重要性が再認識された。その舵取りを

っている地方の悲鳴の声しか聞こえてこない。私は現在の市場原理の政治の仕組みを転換し、地域の生活を維持できる政策に変えたい。誰一人おいてきぼりにしない、血の通ったあたたかい道政をつくらせていただきたい」と訴えた。

新採グッズ 申し込み受付中!



- ①WITH YOU ~労働組合について簡単に紹介しています。
- ②じちろう共済カタログ&はじめまして!じちろう共済です 共済の各制度概要や特長をまとめたカタログとじちろう共済をマンガで学習できる資料です。
- ③はっぴちゃんポーチ~じちろう共済からのプレゼント

▶What's自治労

労働組合の成り立ちや自治労組織、賃金制度についてなど組合活動に必要な情報を学習するためのテキストです。

1冊 550円

JICHIRO スケジュール

3月	23日(木) 北海道知事選挙告示 26日(日) 札幌市長選挙告示 31日(金) 道議会議員・札幌市議会議員選挙告示
4月	9日(日) 統一自治体選挙前半戦投票開票

道本部ホームページ

組合員専用ページは

自治労北海道

ユーザー名: []
パスワード: []



Twitter @jichiro_h1

Facebook 自治労北海道

金田誠一顧問逝去



道本部顧問で元衆議院議員の金田誠一さん(77歳)が3月10日、逝去した。金田さんは函館市職労出身で、書記長、副執行委員長などを歴任した。1979年から函館市議会議員を4期務めた後、1993年に行われた第40回衆議院議員総選挙に旧北海道3区から立候補して初当選。第43回、44回総選挙では小選挙区で2連勝するな

ど、2009年に政界を引退するまで5期16年務めた。主に厚生労働の分野で活躍。1997年の臓器移植法の審議において、脳死を人の死とする中山案への対案として、脳死を人の死としない金田案を提出した。金田案は否決されたが、憲政史上初めて、与野党ともに党議拘束をしないなかで採決した。

ご冥福をお祈りします。

道市町村課長交渉を実施



交渉に臨む長副執行委員長・江本賃金労働部長(右から) = 3月10日

3月10日、道本部は春闘要求書の回答を受け、北海道市町村課と交渉を実施。賃金要求に関する基本認識

識について「組合員からは賃金改善を望む声が多くあり、労働条件の変更にあたって、十分な協議の機会を設けない自治体が増えている。地方公務員法第55条の違反と労働基本権を侵害するものである」と訴え、賃金の引き上げ要求や労働条件の決定過程における認識を質した。また、道として「技術的助言」という圧力による締め付けは行わないことを確認した。人事評価

制度の活用・運用についても、労使協議事項であることを再度確認。「振興局とも情報共有し、適切な運用にむけ助言を行ってまいりたい」との回答を得た。さらに、「未払い超勤や振替・代休の不適切な運用を行っている自治体があるとしたら、法律に違反するものとして重く受け止めなければならぬ。実態を適正に把握した上で、事前命令と事後確認の徹底、必要な予算の確保など適切に対応させるよう引き続き助言してまいりたい」との見解を引き出した。

会計年度任用職員制度の確立にむけては、道として国や関係省庁に対し、より明確な形で財源措置をさせるよう働きかけを要請。今一度、賃金・諸手当・休暇等、常勤職員との均等待遇がはかられるよう強く求めた。道市町村課は「勤勉手当の支給については、法改正の経過を各自自治体へ情報提供してまいりたい。各自自治体の実情を踏まえ、所要額について地方財政措置を確実に講ずるよう要望している」と回答した。

第43回全国町村職総決起集会

私たちが地方から声をあげる



参議院議面での要請行動=2月17日

第43回全国町村職総決起集会が2月17日、東京都・日比谷野外音楽堂で開かれ、45県本部582人、北海道から134人が参加した。春闘における中央行動の一環として毎年行っているが、新型コロナウイルスの影響で対面開催は4年ぶり。

集会の冒頭、全国町村評議会の宮脇議長は「春闘では全国町村評が実施した総務省交渉の報告内容を活用して交渉に臨んでほしい。自公政権は町村切り捨てともいえる状況を生み出している。国会では私たちの代表である組織内議員が発言

しているが、私たちが地方から声をあげることが後押しとなる。町村職だからできる、顔の見える運動を展開しよう」と呼び掛けた。

瀧口幹事(道本部企画総務部長)が、全国町村評議会が前日16日に行った総務省要請について報告した。

「総務省は初任給格付けの改善について、町村自治体の人員確保が困難な状況に理解を示し、『格付けが国公を上回ったとしてもペナルティはない』と労使交渉の結果を尊重する」と回答。ハラスメントに起因したメンタル不調や休職・退職が増

えている深刻な状況の訴えに対しては『自治体に対し安全衛生委員会を開催するように適切な指導を行っていく』と回答した」と報告したうえで、「単組で運動を積み重ねることしか改善されない。初任給の格付けは規則であり、労使交渉で改善することができる。国を上回る格付けで運用している単組に追いつくよう、到達闘争を進める必要がある」と述べた。

その後、参加者はデモ行進と国会請願行動に参加。議員会館では自治労組織内の岸まきこ、鬼木まこと、吉田たかとも参議院議員との意見交換を行った。

集会に参加して



広尾町労連 吉田 佳織さん

交流会やデモ行進を通じて全国の仲間と団結力を強めることができ、組合員一人ひとりが活動に参加する重要性を再確認した。単組での活動に生かしたい。



津別町職 松本 裕さん

皆さんの思いや熱を感じた。ほかの町村の事例も聞いて自分の危機感のなさを自覚した。より良い職場環境をつくるため、積極的に組合活動に参加したい。

交流・学習 別海町職の活動



別海町職は2月22日に親睦ソフトバレーボール大会を開いた。職場の親睦や運動不足の解消、地域貢献を目的とした毎年恒例の行事であったが、新型コロナや大雪の影響などにより5年ぶりの開催となった。組合員のほか、会計年度任用職員や地域おこし協力隊員、組合OBなど

組んだ。自粛ムードで停滞していた時間を取り戻すため、一丸となることのできた」と述べた。

3月3日には春闘学習会を開催。昇給昇格制度や定年引き上げなど、単組が抱える課題について学んだ。とくに別海町の在級年数は国家公務員より長く設定されており、賃金水準に大きく影響している。講演した道本部の瀧口企画総務部長は「当局は国公準拠と云うが、在級年数が国の水準より低位であることは矛盾している。人材確保の観点からも賃金改善が必要」と春闘の交渉で指摘するよう述べた。



14チーム、105人が参加したソフトバレーボール大会(上) 春闘交渉にむけた学習会(下)

別海町職の大西執行委員長は「4年ぶりの開催で運営経験のある役員もいないなか、準備は大変だったが、執行部全体で絶対に開催するという意気込みで取り

加した。

別海町職の大西執行委員長は「4年ぶりの開催で運営経験のある役員もいないなか、準備は大変だったが、執行部全体で絶対に開催するという意気込みで取り

忙中余話

12年前の2011年、東日本大震災があった年に高校を卒業して、出身の江別市から知内町役場に就職した。知内町は北海道では割と東北に近い地域であり、「向こうに行ったらどんな暮らしが待っているのだろうか」と不安を抱きながら赴任したのを覚えている。無事4月から新生活がスタートしたが、知内町には親戚も知り合いもいなかった。最初の頃の休日は一人でお出かけしていた。やがて先輩とご飯を食べたり遊びに行くようになり、



野球部で活躍していた佐藤青年部長=2013年

徐々に知り合いができた。自分がまわりとつながることができたのは、誘ってくれる先輩や職場の研修、組合活動などのきっかけがあったからだ。約3年のコロナ禍で青年同士の横のつながりが希薄化し、運動する気分をどうつこつこしていくかは青年の課題。「学習と交流」を通して仲間と関わりを深め、一人でも多く一緒に運動を頑張ってくれる仲間を増やしていきたい。

車両損害補償!

『基本補償(標準型)』にあわせて、大切な愛車をごっちり守る『車両損害補償』(一般補償+付随諸費用補償特約)の付帯をおすすめします!

車両損害補償のおすすめ安心タイプ

<一般補償>



付随諸費用補償

代車費用や修理工場からの運送費、帰宅等費用、車上荒らしなどによる盗難被害、身の回り品の損害に関し、所定の基準で補償します。

こくみん共済 NEWS 5120A094

マイカー共済

自動車総合補償共済

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生活の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

公共サービスにもっと投資を！キャンペーン



雪が降るなか、チラシを配りながら処遇改善などを訴えた=2月25日、札幌駅前

臨時・非常勤等職員連絡会議(以下、連絡会議)は2月25日、札幌市内で街頭行動を実施。処遇改善や不安定雇用の解消などを訴えた。自治労が春闘で取り組む「公共サービスにもっと投資をキャンペーン」の一環として、連合北海道と連携して行ったもの。

臨時・非常勤等職員連絡会議

処遇改善を訴える

公共サービスを提供し続けるため

自治体で働く会計年度任用職員は、毎年、雇用の継続に不安を抱えながら働いている。公募によらない再雇用の継続を2回までとしている自治体が多く、とくに今年4月に雇止めが行われる可能性が高い。賃金面の課題も多く、月例給与は総務省が作成したマニュアルの水準を下回る自治体も多い。近年の人事院勧告では一時金のマイナズ分を期末手当で、プラス分を勤奨手当で調整しているが、会計年度任用職員には勤奨手当が支給されない。このため、正規職員と



全日本自治団体労働組合 北海道本部
〒060-0806 札幌市北区 北6西7 北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 高田 将平

3・11から12年。岸田政権は事故を忘れたのか、あるいは過去のことをしたのか、原発帰還を決めた。福島にはまだ帰還困難区域がある。政府が年内に海洋放出するとした放射性物質を含む原発処理水は、今も増え続

朔風

けている。廃炉作業が完了するには、今後30年〜40年かかると言われている。3・11はまだ終わっていない。電気料金高騰や安定供給、脱炭素など確かに課題は多い。しかし、原発帰還を正当化させてはならない。

元氣と勇氣が出た
時折、雪が強く降るなか、連絡会議は「公共サービスをを守るためにも、会計年度任用職員の処遇や不安定雇用の解消が必要」と訴え、市民に理解を求めた。街頭行動を終えた連絡会議の参加者は、それぞれ次のように感想を述べた。
中谷議長
「チラシを受け取った人を見てくれるとうれしい。私たちがとっては街頭から訴えること自体に意味があり、これからの組合でがんばろうと思えた。」

阿部副議長
「生の声で直接訴える貴重な機会となった。チラシを受け取ってもらった時はうれしかった。」
古屋敷事務局長
「市民への宣伝という意味も大切だが、組合の活動への思いを新たにすることが意味で貴重な機会だった。全道の仲間とともに自分たちの待遇について訴えることで、元氣と勇氣が出た。市民の思いを変え、ともに、自分の思いも変えることができた。」

合同研修会を“初”開催



グループワークをおし、情報交流する青年女性=2月25日、札幌市

研修会では、それぞれの代表から青年部としての取り組み事例報告や、現在の課題について提起があった。佐藤青年部長は、「賃金や職場合理化などあらゆる問題に対し青年が声をあげている。生活や職場の不満・不安は一人では解決できない。仲間と関わることから、一緒に運動できる仲間を増やしていきたい」と述べた。グループワークでは事前アンケートを用い、青年層ならではの悩みや、お互いの勤務体系・業務内容等について意見交換を行った。また「困っている仲間が相談できる場をつくりたい」、「自分の職場だけでなく地域の仲間ともつながりを持

参加者の声
初めて青年部との合同研修会を行い、青年層ならではの課題や取り組みを情報交換することができた。長年課題となっていた人員不足や休暇状況など、各自治体で差が大きく、これから活躍すべき青年層のモチベーションが上がりにくい傾向にあると感じた。今後も自治労と連携し継続的に意見交換を実施したい。



西いぶり消防職員協議会 朽木 麻里奈 さん

2月25日、札幌市内で「2023道消協第1回青年女性研修会・道本道青年部合同研修会」を開いた。道本道青年部からは16人が参加し、道消協からは35人が参加した。この合同研修会は初の試みで、「青年同士の交流機会がなく、お互いの活動について理解し全道の仲間と交流したい」という道消協青年女性部からの提案により実現。
研修会では、それぞれの代表から青年部としての取り組み事例報告や、現在の課題について提起があった。佐藤青年部長は、「賃金や職場合理化などあらゆる問題に対し青年が声をあげている。生活や職場の不満・不安は一人では解決できない。仲間と関わることから、一緒に運動できる仲間を増やしていきたい」と述べた。グループワークでは事前アンケートを用い、青年層ならではの悩みや、お互いの勤務体系・業務内容等について意見交換を行った。また「困っている仲間が相談できる場をつくりたい」、「自分の職場だけでなく地域の仲間ともつながりを持

消防協青女部と交流、相互理解深める

JICHIRO スケジュール

3月
17日(金) 春闘統一行動日
23日(木) 北海道知事選挙告示
26日(日) 札幌市長選挙告示
31日(金) 道議会議員・札幌市議会議員選挙告示

道本部ホームページ

組合員専用ページは

自治労北海道

ユーザー名: []

パスワード: []

Twitter @jichiro_h1

Facebook 自治労北海道

青年部
トークセッション

みんなのマチの議員と話してみた

その2



佐藤 綾香さん

上ノ国町職



佐藤 剛さん

青年部長



奥山かおりさん

士別市議会議員



中野 雄大さん

厚岸町職



張摩 秦さん

青年部書記長



武田 浩光さん

北海道議会議員



QRコードを読み取ると
トークセッションが視聴
できます！



前号(第2323号)に引き続き、青年から質問させていただきますのでよろしくお願いします。



なぜ議員になったんですか？きっかけを教えてください。

今、分類的には政治家と呼ばれているけど、政治家が政治をしているのではなくて、具体的な政策や予算を推進している、みんなの仕事の一つひとつが政治だと僕は思っています。



武田

道議になったからそう思ったわけではなく、青年のころから全道庁の組織内議員と関わってきて、身近にあったのでそう考えるようになりました。組織内議員の必要性を感じてきたけど、まさか自分がその立場になるとは思っていませんでしたね。



武田

私はまず、議員になろうなんて思ったことない。



奥山

(一同爆笑)

私は生まれ育った士別市というマチが大好きで、市役所で市民のために働きたいと思っていて。私の同級生や、執行委員長をやっていた人が市議会議員になって、岸まきこ参議も同級生で頑張っているのを見て、私もやらなきゃならないのかな、と。



奥山

そんな感じだったのだけど、議員になることをOKしてくれた夫が「市民のために頑張れ！」と言ってくれて。議場のなかで「職員はこんなに頑張っているんですよ。」ということを伝えなかったというのが本当のところですね。



奥山



佐藤剛

お二人は現場を知っていて、それを届ける場所にいるじゃないですか。どんなことを発言しているのですか？

昨年、全道庁から若年層の離職が多いというデータをもって、総務委員会と本会議で発言しました。全道庁とか自治労の課題を質問に反映させるようにしています。



武田

札幌市で解決すべき課題、北海道で解決すべき課題というのは違って、さらに法律を変える必要がある課題というのは国会議員がやらなければならない。連携がすごく大事なんですよ。



武田

私はあえて管理職の超勤について質問したことがあります。後輩たちがゆくゆく迎えることになる道なので。あと、今年初めて保育士が採用ゼロだったので、そのことについて質問しましたね。



奥山

私に思いを託してくれた人は、市役所の組合員が多いので「本当は職場のことだけをやりたい」けど、それだけを考えるわけにはいかない。私は市役所のなかだけでなく、公共サービスとかエッセンシャルワーカーとか、もう少し広い課題を取り扱うようにしています。



奥山



佐藤綾

私の職場は地域支援センターで、もちろん、役場で解決できることもあるのですが、ケースによってはどうしても助けてあげられない住民もいます。

解決できないから議会で話す。僕らが仲立ちすれば解決できることの方が多いのです。役場だけでは解決できない、制度を変えなければこの人を助けられない、ということが議会で取り扱われます。



武田

「私だけじゃなくて、いろいろな人が思っている、言っていることなんだよ」ということを伝えていくのが大事ですね。



奥山

忙中余話

あたり前のように朝が来て、ちょっと面倒だと思いつつながらも仕事に向かう。仕事が終わったら、今日は何を食おうかなと考えるながら家路につく。ごはんを食べて、お風呂に入り、家はいいなあとならたら過ぎし眠りにつく。そんな多くの人がとっての「あたりまえ」が奪われてしまった12年前の3月11日。



(中村 香菜)

2016年、臨時書記として採用された時の写真

あれから12年が経ち、原発の運転可能期間を60年超とする法案が閣議決定され、政府の原発帰りの姿勢が鮮明になっている。使用済み核燃料処理などの問題が山積するなかでの舵切りだが、福島第一原発事故はまだ終わっていない。今でも避難生活を余儀なくされる人、帰宅困難区域に指定され故郷に立ち入ることができない人が大勢いることを忘れてはならない。同じ過ちを繰り返さないためにも「核と人間は共存できない」ということを訴えていく必要がある。



全日本自治労団体労働組合 北海道本部 〒060-0806 札幌市北区 北6西7 北海道自治労会館 電話 011-747-3211 FAX 011-700-2053 編集・発行 高田 将平

厚岸町職が合理化阻止

自治労のスケールメリット

昨年10月12日、厚岸町当局は厚岸町職に対して職員制度の見直しを申し入れた。一つは給与表における級を、主査職は4級から3級へ、主任職は3級から2級へ見直すもの。もう一つは町外に居住する職員を抑制することを目的とした通勤手当の支給上限引き下げだった。本紙では事前協議も何もなく申し入れられた提案に対する、厚岸町職のたたかいを紹介する。

分限処分に相当

当局は給与表における級の見直しについて「主査職の現状は係長級と同等の職務内容・職責とは言えず適切ではない」と説明。通勤手当引き下げの目的については「災害発生時の対応に支障をきたす。住民からも批判の声があり、職員の町外居住を抑制するため」とした。組合の回答期限は11月16日まで。組合側の検討



闘争終結を決めた全体集会には多くの組合員が結集＝1月20日(上)、196枚の抗議ステッカーが集まった

2013年に自死した自衛隊員、その原因は過重勤務やパワハラであったと大津地裁が認めた。隊員の処遇改善や設備の更新も滞り、50年前の宿舎を使っていることも珍しくない。隊員の充足率が減少しているという

朔風

が、こんな職場？で働き続けたと思う人はいないだろう▼人材の確保・定着には職場環境と処遇の改善が必須だ。それを訴えるのが労働組合であり、今、春闘がその時。職場の不安や不満を声に出して訴えよう。

や組合員へ説明する期間を考慮しない、不当なものであった。

厚岸町職は直ちに対応を協議した。級の見直しは事実上分限処分の降格に相当し、最も影響の大きい職員は年額50万円、退職金を含む生涯賃金では1千万円超の賃金削減となる。通勤手当の引き下げは居住移転の自由を反し、違法性が疑われる。地方本部、道本部へ支援を要請し、自治労顧問弁護士への照会を依頼した。

全国に広がった支援

厚岸町職の青年部が実施したアンケートでは、申し入れが実施されたなら退職を検討するとの回答が多数を占めた。職場集会には対象者の70%が参加。主査職だけが賃金削減されることは納得できない「生活できなくなる」など、当局への批判が相次いだ。申し入れを容認しないこと、団体交渉には全組合員が参加することなどを決定した。

憲法、地公法に違反

浅野高宏自治労顧問弁護士は、級の見直しについて「平等取扱いの原則(地公法13条)、国や他自治体および民間給与との均衡原則(同24条)などに違反する。また、極めて重要な労働条件の変更であり、十分な説明と労使交渉期間の保証も

組合員と共有

厚岸町職の内柴執行委員は、2月3日に開かれた道本部の臨時大会で「元々、厚岸町職は結集力の弱い単組だが、教宣紙や職場集会で組合員と問題意識を共有し、組合の考え方を理解してもらえよう努力を。あきらめずに活動したことで当局側も組合の主張を無視できなくなり、合理化の阻止につながったのではないかと報告。全道・全国から寄せられた支援に

対して感謝を述べた。道東地方本部の中村執行委員長は「当局の不当な申し入れに対し、組合が一体となって反対運動を展開した。道本部・地方本部も一丸となって取り組み、自治労のスケールメリットを示すことができた」と闘争を総括した。

本号の紙面

- 23面 2023国民春闘アンケート
- 4面 青年部トークセッション「みんなのマチの議員と話してみよう」、忙中余話

道本部ホームページ

組合員専用ページは 自治労北海道 検索

ユーザー名:

パスワード:

Twitter @jichiro_h1

Facebook 自治労北海道

JICHIRO スケジュール

- 3月 7日(火)～16日(休) 春闘重点交渉期間
- 17日(金) 春闘統一行動日
- 23日(木) 北海道知事選挙告示
- 26日(日) 札幌市長選挙告示
- 31日(金) 北海道議会議員・札幌市議会議員選挙告示
- 4月 9日(日) 統一自治体選挙前半戦投票日



当選者発表!! 道本部ホームページと道本部機関紙第2322号(2023年2月11・21日付)に掲載しています!

おにきさんの 鬼木まこと 国会だより①

生活することは移動すること



立憲民主党国土交通・復興部門会議＝1月25日

通常国会が始まりました。今国会で地域公共交通の活性化に関する法改正が提案される予定です。少子高齢化、人口減少による利用者減にコロナ禍が追い打ちをかけた、公共交通の多くは赤字経営となつていま。加えて、労働環境の悪化により交通職場での人員確保は従来にも増して厳しくなっており、担い手不足は深刻な課題です。通学、通勤、通院、買い物、多くの人にとって生活することは移動することであり、移動手段の確保は「生きていくこと」を支えることに他なりません。今回の法改正は、これまで以上に「町づくりと交通」を一体的に捉えることを含め、自治体の主体的な関わりを求めています。自治労の政策議論としっかり連携し、国会における議論を深めていきます。

特集

自治労北海道本部 2023国民春闘 アンケート結果

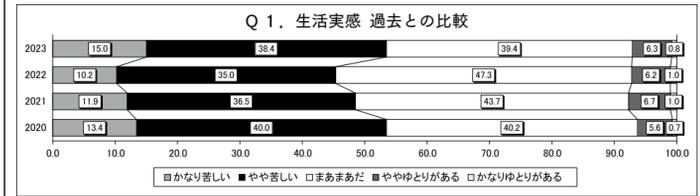
賃上げ要求額“11,685円”過去20年で最高額

2023国民春闘アンケートは25,880人から回答いただき、春闘方針や自治労本部への意見反映に役立っています。本誌に掲載しているのは要約版です。詳細な結果は道本部ホームページでも参照できます。(ホームページ情報は1面に掲載)

Q1. 今の生活実感は？ 53.4%が生活「苦しい」と感じている

前年と比較すると、「苦しい」は8.2%増、「まあまあ」は7.9%減となるなど、大きな変化が確認できた。「ゆとりがある」については変化が少ない。「かなり苦しい」、「やや苦しい」については、緩やかではあるが、減少傾向となっているものの、今回は増加に転じている。扶養の有無が生活実感に大きな影響を与えているという結果は例年どおりだが、扶養家族0人(扶養なし)でも「苦しい」と回答した割合が45.9%もあり、「ま

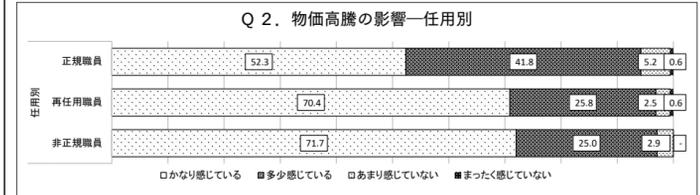
あまあ」の44.6%よりも多い結果となった。これは過去を振り返っても初めてのことである。「年齢別」で「苦しい」をみると、年代が上がるにつれ高くなる傾向は例年と同じであるが、前年「苦しい」と回答した「20代」は41.4%だった。今回は51.7%と10%以上増えた。若年層でも生活実感として「苦しい」と感じていることが明確になったといえる。



Q2. 物価高による家計への影響は？ ほぼすべての組合員が物価高の影響「感じている」

全体の結果は、「かなり」53.8%、「多少」の40.5%を合わせた「感じている」が94.3%とほぼすべての組合員が物価高を「感じている」という結果となった。ほぼ扶養家族数に比例して「かなり感じている」が増えており、扶養家族5人では8割超

となっている。「任用・雇用形態別」では「かなり感じている」と回答した「再任用職員」は70.4%、「非正規職員」で71.7%と7割を超えた一方で、「正規職員」は52.3%と20%近い差が生じていることに注視する必要がある。



Q3. 特に負担を感じている費目は？ 食費・光熱費の負担感が急増

今回は「光熱水費」「食費」「税金・社会保険料」「交通・車両費」の順となったが、特筆すべきはその割合である。前年42.1%だった「光熱水費」は、69.3%となり27.2%増、「食費」については31.2%増の62%となった。割合で6割を超えたのは現在の調査方式となってからは初である。これまでの調査ではライフステー

ジによって負担が大きい経費が異なる傾向が見られていたが、今年は「食費」、「光熱水費」、「車両・交通費」と「税金・社会保険料」に集約されるという特徴が見られた。特筆すべきは「20代以下」の「奨学金」だが、今回は10.9%と前年の15%よりは減少したが高い傾向。

Q3. 特に負担を感じている費目 (%)

1番	光熱水費	69.3	6番	教育費	12.9
2番	食費	62.0	7番	通信費	10.8
3番	税金・社会保険料	28.3	8番	医療・介護費	8.1
4番	交通・車両費	27.3	9番	生保や損保の掛金	7.4
5番	住宅関係費	25.3	10番	教養・娯楽費	7.2

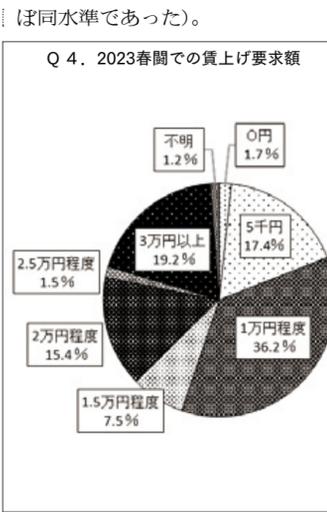
Q4. 2023春闘、あなたの賃上げ要求額は？ 要求額、過去最高に！前年比+941円

今回の要求額の調査結果は、前年から941円アップの11,685円となった。11,000円台となったのは、2015春闘以来8年ぶり(2015年は11,300円)、過去20年で最高額となった。前年、要求額「3万円以上」が16%となり、過去10年では最高となったと報告したが、今回は19.2%となり、それを更新した。

食費や光熱水費の負担増が原因と考えられる。負担感を減らすためには賃上げしなく、それが要求額に反映したといえる。

特に過去10年間と比べても要求額が最高となったのは、「保健系技術職」と「医療系看護職」の2職種である。コロナ対応で疲弊する職種で要求額が高くなっている。

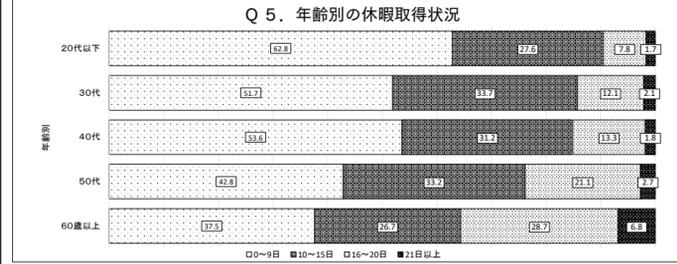
「任用・雇用形態別」では、例年同様に「再任用職員」が最も高く、前年比では5,924円のアップとなっている(「非正規職員」は前年とほ



Q5. 年休取得日数は？ 全体は向上も、若年層の休暇取得進まず

年休の取得日数だが、今回も「5~9日」が36.9%(前年35.9%)となり、最も多かった。しかしながら、「10~12日」が前年の18.6%から20.4%に、「13~15日」も10.3%から10.7%に、「19~20日」も6.5%か

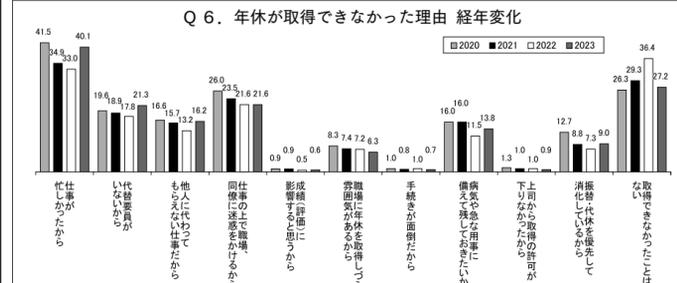
ら7.0%とわずかではあるものの増えている。「年齢別」では、「9日以下」と回答した「20代以下」が前年(62.6%)と同水準の62.8%で6割を超えたままであり、若年層の休暇取得の改善は進んでいない。



Q6. 年次有給休暇を取得できなかった理由は？ 「仕事が忙しい」「代替要員がない」の割合が増加傾向

全体として取得できなかった理由の1番は、「仕事が忙しかった」で、前年より7.1%増の40.1%となった。2番目は「職場、同僚に迷惑をかけるから」で、割合は前年と同じ21.6%、3番目の「代替要員がないか

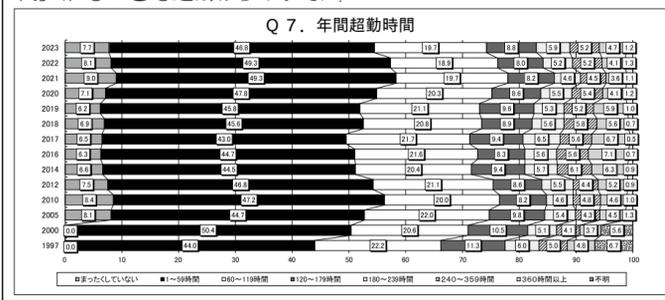
ら」は21.3%と前年より3.5%増加している。増加傾向にあった「取得できなかったことはない」が大きく減少したことは注視する必要がある。この要因と実態については、ぜひ職場で検証していただきたい。



Q7. 年間の超勤はどれくらい？ 若年層と中年層で60時間超が増加

前年と比べ全体では、「まったくしていない」が0.4%減、「1~59時間」が2.5%減で、「60~119時間」が0.8%増、「120~179時間」が0.8%増、「180~239時間」が0.7%増、「360時間以上」が0.6%増となった。「60時間」を区切りに超勤が微増し、2年連続で悪化している。

年齢別でみると、前年同様「30代」がもっとも超勤が多い。また、「60時間超」の区切りで前年と比べてみると、「20代以下」では3.9%増(40.6%→44.5%)、「30代」は1.8%増(48.2%→50%)、「40代」は5.6%増(43.8%→49.4%)、「50代」は1.8%増(35%→36.8%)、「60歳以上」は1.2%減(22%→20.8%)で、若年層と中年層での超勤時間が増えていることが確認できる。



Q8. 最も超勤の多かった月の超勤時間は？ 17.7%の組合員が月45時間超と回答

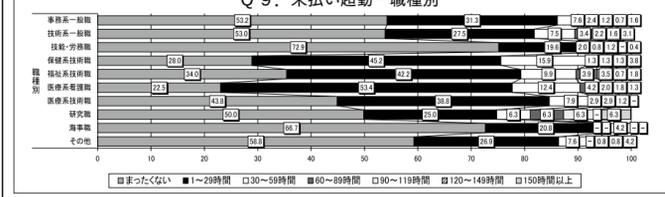
最も多いのは、前回と同じ「1~19時間」で、45.8%(前回45.2%)だった。「まったくしていない」は前回より0.7%増の7.1%となっている。この二つを合わせると52.9%で、過半数の組合員が20時間未満であった。「原則ひと月45時間」と定めた人事院規則を超えたのは17.7%。「職種別」で「45時間超」が多いのは「保健系技術職」(9.5%)となっている。



Q9. 年間のサービス残業はどれくらい？ 医療系看護職は75.1%が「未払いあり」

今回の「未払い超勤(サービス残業)あり」は48.4%で、前年(51.4%)より3%減となった。「まったくない」は49.4%で、前年(46%)より3.4%増となった。「職種別」にみると、「未払いあり」

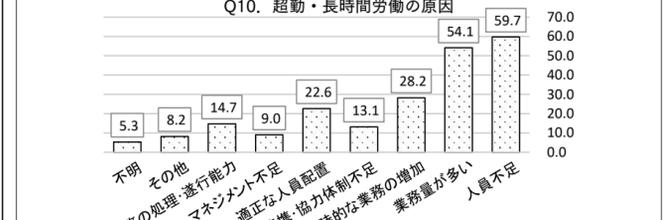
が全体より多いのは、「医療系看護職」(75.1%)、「保健系技術職」(75.1%)、「保健系技術職」(68.8%)、「福祉系技術職」(62%)と続く。特に「医療系看護職」は前年70.7%より4.4%悪化した。



Q10. 超勤・長時間労働の原因は？ 「人員不足」と感じている人が6割

「人員不足」が59.7%と6割近くになっており、「業務量が多い」も54.1%と半数を超える。以上のことからいえるのは、根本的な人員不足により、業務量に見合った対応ができていないという構造である。政府が進める「働き方改革」が生産性向上の名のもとに、労働密

度の上昇=業務量の過多を招いている状況にあることが、私たち公共サービス職場でもあらわになっている。また、若者の離職が課題となるなかで、「職場・業務の忙しさ」が「自分自身の能力の問題」=自己責任として受け止められているという事実も浮かび上がってきた。



Q11. 会計年度任用職員の制度改善にむけて優先的に取り組むべきことは？

「昇給制度改善」がともに増加 正規と非正規の職員間で相互理解広がる

正規職員と非正規職員の回答を高い順から並べると以下の表のとおりとなり、非正規職員は「昇給制度」「勤勉手当支給」「諸手当支給」と賃金課題を優先課題としているのに対して、正規職員は制度改善というよりも「仕事量と役割の明確化」が優先となっている。ただし、前年と比較すると、正規職員では、「仕事量と役割の明確化」が30.1%におよぶが前年より4.4%減り、逆に他の回答割合が増加しているが、「昇給制度」は8.5%も増加し、順位の3番目になったことは特筆すべきだろう。

今回の調査結果をみると、昨今の物価高騰のなかにおいて賃金水準が低く抑えられている厳しい実態や、この間、非正規・会計年度任用職員



Q11. 会計年度任用職員制度の改善にむけて優先的に取り組むべきこと

	1番	2番	3番	4番	5番
正規職員	仕事量・役割明確化 (30.1%)	休暇制度 (29.1%)	昇給制度 (27.5%)	勤勉手当支給 (26.2%)	正規職員登用制度 (25.4%)
非正規職員	昇給制度 (47.1%)	勤勉手当支給 (41.4%)	諸手当支給 (41.4%)	任用回数上限撤廃 (32%)	正規職員登用制度 (28.3%)

Q12. 国民春闘で特に重点をおくべきことは？ 賃金改善、人員確保を望む声が5割超 20代以下では“73.7%”の組合員が賃上げ求める

全体では、「賃金改善」「人員確保」「物価高対策」「両立支援」「定年引き上げ」の順となり、上位2つは半数を超える。「物価高対策」が41.3%の3番目にあげられたのは、いかに物価高騰の影響が大きいかが表れている。なお、物価高対策は政治対応が不可欠であることから、選択肢は「物価高対策における政治闘争の取り組み」としているが、2021年に実施した「第19回意識調査」では(道本部

の取り組みについて)今後縮小すべき課題として「選挙・政治闘争」がもっとも高い数値(29.6%)であった。あらためて、選挙や政治への関わりについて消極的ではあっても、生活や働き方と政治が切っても切れないものであることを確認したい。

Q12. 国民春闘で特に重点を置くべきだと考えるもの

	1番	2番	3番	4番	5番
全体	賃金改善 (55.3%)	人員確保 (52.6%)	物価高対策 (41.3%)	両立支援 (34.9%)	定年引き上げ (34.5%)
年齢別	20代以下	賃金改善 (73.7%)	人員確保 (52.5%)	物価高対策 (42.2%)	両立支援 (34.8%)
	30代	賃金改善 (61.0%)	人員確保 (53.6%)	物価高対策 (43.8%)	両立支援 (42.2%)
	40代	人員確保 (53.0%)	賃金改善 (46.0%)	物価高対策 (40.1%)	両立支援 (36.9%)
	50代	人員確保 (53.4%)	定年引き上げ (53.3%)	賃金改善 (44.2%)	社会保険制度 (41.6%)
	60歳以上	社会保険制度 (49.8%)	会計年度職員 (45.0%)	定年引き上げ (43.8%)	人員確保 (41.8%)

自治労北海道本部「国民春闘アンケート」によせて

今回もアンケート実施にあたり、アドバイザーとして関わっていただいている釧路短期大学の杉本龍紀教授から調査結果をまとめるにあたってコメントを寄せていただきました。今回は超勤の実態から労働生産性と労働密度、ひいては「働き方改革」について考察されており、職場での学習・討議にお役立てください。(詳細は、各単組へ配布している冊子または道本部ホームページ「資料」から閲覧してください。)

青年部
トークセッション

みんなのマチの議員と話してみた

その①



佐藤 綾香さん

上ノ国町職



佐藤 剛さん

青年部長



士別市議会議員 奥山かおりさん

士別市役所勤務。道本部組織部長、士別市労連副
執行委員長などを務めた後、2021年9月に行われた
士別市議会議員補欠選挙に立候補して初当選。



中野 雄大さん

厚岸町職



張摩 秦さん

青年部書記長



北海道議会議員 武田 浩光さん

札幌医科大学付属病院放射線管理室に勤務。全道
庁労連医大労組執行委員長を務めた後、2019年4月
に行われた北海道議会議員選挙に札幌市西区から立
候補して初当選。



張摩

今日は青年から率直な疑問をお話しさせていただきます
ので、よろしくお願いします。



佐藤綾

新型コロナ対応や、DX推進で実際は業務が増加して、
メンタルを患っている職員が多くいます。賃金面でもゆ
とりがなくて、結婚や出産をあきらめる、もう少し後に
しようという青年がたくさんいます。私たちの実態を議
員の皆さんにどのように伝えればいいのでしょうか？



佐藤剛

どれぐらいの頻度で労組と話しています？

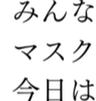


佐藤剛

時間が空いたら書記局に行ってます。あと、みんなの目
を見るようにして、目が死んでいないかチェックしてる。



奥山



佐藤剛

ここにいる人たちは大丈夫ですか？(笑)



佐藤剛

みんなは大丈夫！（一同爆笑）
マスクしてても表情おかしいのは分かるから。「いいから
今日は帰らなさい」って。「いい仕事できないしょ？」っ
て声かけてます。



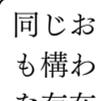
奥山



佐藤剛

働きすぎは良くないですね。

(一同「良くないよねえ」)



佐藤剛

若者はそれだけプレッシャーを受けて働いていて、新規
採用者も即戦力として働かされていて、すぐに窓口に入
って隣で教えを受けるわけでもなく。やるしかない精神
で働いています。僕の職場では組合の人が声をかけてく
れたのですが、声かけるのって大事ですよ。



奥山

武田さんは青年とはどうですか？



武田

同じおなじ。僕も青年に「いつでも行くから2~3人で
も構わないから声かけて」って言うてる。やっぱり身近
な存在であり続けなきゃならないと思っているので、今
も組合には頻りに顔を出しますね。一方的に「議会とい
うものは」なんて話をするつもりは全然なくて、皆がどんな問題を
抱えているのか知りたい。で、それをどうすれば解決できるかなと、
一緒に考えていきたい。



中野

厚岸にも組織内議員が一人いて、9期やっている方なん
ですが、実際に喋る機会というのは年に一回の地区連合
の懇親会だけです。組合から何か発信しようと思ったこ
ともない、という感じでした。でも組合員は常に何かし
ら悩みを抱えていて、夜中まで当たり前のように働いている。議員
には声をかけにくいと思っていましたが、組織内議員がいることを
自覚しないとダメなんですね。

超勤とか過重労働とかは、たぶん昔から問題だったと思
います。業務量にあった適切な人員配置がされていない
、「それが当たり前」という古い考え方が役所にはある。
今で言うと、例えば1万人いたマチが5千人になったら
職員は減らされるけど、行政サービスの質は落とせない。職員の負
担を減らすためにDX化しなければならないけれど、今はその過渡
期なので業務量が増えてしまっているんですよ。だから自分たちの
業務が軽減できるように、推進する方法を間違わないようにしない
としない。それは僕らのような年齢の人よりも、新しい技術を身
に着けやすい若者が情報発信をした方がいいと思います。道議会でも
iPadが導入されていますが、使いこなすことができず「やっ
ぱり紙で頼む」とか言う議員もいる。結局、DX化しているのに業
務が増えてしまう。当局は「iPad導入するからこの分仕事が減
る」と単純に組織機構改革をやってしまうけど、それはやっぱり大
きな声を、青年層があげなくちゃならないと思います。基本組織に
話を通して議員にも話して、対策していくことも一つの方法です。
良いサービスを提供するためにはそこで働いている職員がよい環境
で働かなければあり得ない。そこは貪欲に言った方がいいと思いま
すよ。僕ら議員はそういう情報がほしいと思っている。



武田



佐藤綾

今のDXの話でも、私たちがいろいろな人を巻き込んで、
実態は「こんな大変なんだよ」ということを訴えなけれ
ばならないんですね。

忙中余話

「壁」による時間調整によ
り人手不足が深刻化してい
るといふ▼自分が職場に入
った86年、北海道の最低賃
金は時給430円と今の
半分以下だったが、
すでに今と同様の
「壁」はあり、今日ま
で変わっていない▼
岸田首相は2月の予
算委員会で「壁」の
見直しに言及した



1986年、職場に入ったところの河井会計部長

昨年確定闘争
で短時間の会計年
度任用職員の賃金
改善を求めたが
「年収130万の
壁」により難航し
たとの報告があ
った。民間でもパ
ート労働者が多い業態で
「壁」による時間調整によ
り人手不足が深刻化してい
るといふ▼自分が職場に入
った86年、北海道の最低賃
金は時給430円と今の
半分以下だったが、
すでに今と同様の
「壁」はあり、今日ま
で変わっていない▼
岸田首相は2月の予
算委員会で「壁」の
見直しに言及した